

4速全開！ 最終コーナーをフルスロットルで駆けぬける気分は最高

外観はフロントグリル以外、ほとんどノーマルで、カラーリングもベージュと地味だが、トランクルームにピッタリ収まったエンジンはホットな雨宮チューンだ。



エンジンは13Bサイドポルトチューン。ポート研磨、軽量フライホイール、KOEI・CDI2基、電動ファン、電磁ポンプ3基、ステンレス製タコ足、50φマフラー、キャブはウエバー48φ。足まわりはフロント、RX-3のサスとハヤシのストリートショック。リヤ・コニのショック。タイヤはF・ダンロップフォーミュラR175/HR13、R・ダンロップブレーシング・225。オーナーは永瀬サン(20歳)



一見何げないシルバーのZだが、どことなく都会的なセンスの光るカーショップF-1のZ。エンジンはL28改の総排気量3100cc。ボア・ストロークは89mm×83mm。F-1オリジナルピストン、ポート研磨、軽量フライホイール、クラシク、コンロッドのバランス研磨、F-1オリジナルブロック加工、工、燃焼室変更、ハイカム76-78、手を加えてない所がないほど、チューニングがれつくした車。



薄いパールブルーのボディからは想像できない程のモンスターエンジンを隠し持ったZ。エンジンはL28ベースの3200cc。ボア・ストロークは89・5mm×83mm、クラシク、フライホイール、ピストン、コンロッドは精密にバランス取りされている。バルブはイン44mm、エグゾースト35mm、ハイカムは非対称スベシャル、キャブレターはウェーバー45φを改造したものが入っている。



新型RX-7。ブラックのボディにはリヤスポイラーが取り付けられている。エンジンは13BサイドポルトにシグマオートモティブのKKK・ウエストゲート付ターボが取り付けられている。電気系統はコイエイCDI2ケとフルトラでチューンされている。足まわりはノーマルのコイルを1巻カットし、ビルシュタインのショックアブソーバーで固めている。アルミホイールはレーシングフォー・J・スベシャル。タイヤはブリジストンのポテンザ、RE47S-175/70HR3と、195/70HR14。チューニングは雨宮自動車。オーナーは松本さん。

